



インプラント治療の
疑問にお答えします

歯を失った場合の効果的な治療法として認知されてきたインプラントですが、その成功率や治療の流れなどについて多くの患者さんが疑問をお持ちのようです。

インプラント治療とは…

何らかの原因で失ってしまった歯の代わりに、顎の骨にチタン製のネジを埋め込み、被せ物をして人工の歯を作る治療です。残っている歯への負担がなく、自分の歯のように食事をとることができます。また、白い被せ物が入るため審美的にも満足が得られます。

JUN 歯科クリニックでは、インプラントの無料相談を受け付けています。

一人一人に合った方法を、プライベートな空間でご説明させていただきます。

是非一度、お気軽にご相談ください。

(*初診料など、別途費用が発生する場合があります。)

コラム

紅葉シーズン到来です(^^♪

日が落ちるのも早くなり、いよいよ秋本番といったところでしょうか。木々の葉や山々も色づき始め、景色もだんだんと秋めいてきます。この季節、やっぱり行きたくなるのが「紅葉狩り」。そこで今回は、なぜ狩りをするわけではないのに紅葉狩りというのか、ご紹介します。

そもそも紅葉狩りの意味は、山や野などに訪れて、美しく染まった紅葉を楽しむことを言います。ではなぜ「狩り」と言うのでしょうか。

もともと「狩り」とは獣を捕まえたり、果実を採取したりする意味で使われるのですが、他にも花や草木を眺めて楽しむ、探し求める、という意味もあります。それで紅葉狩りと言われているんですね。

香川県では10月下旬～11月下旬が見ごろだそうです、栗林公園のライトアップなんかもデートには最適ですね！

紅葉狩りは日本ならではの文化です。ぜひ休日を利用して行かれてみてはいかがでしょうか。



デンタルアシスタント 稲井梨穂

JUN 歯科クリニック

TEL・FAX 087-813-2123

〒760-0054

高松市常磐町2丁目8-10 Macrophage Bldg

JUN インプラントセンター

TEL 087-813-2331

サンポート歯科

TEL・FAX 087-851-5545

〒760-0011

高松市浜ノ町63-2 Blue Box

歯の神経を取ったのに痛いのは何故？

過去に歯の神経の治療（歯の根っこの治療）をした経験がある方は多いと思います。でもその後、「神経を取ったのに痛い」という経験をした方もいらっしゃるかもしれません。では、なぜ痛むのでしょうか？原因は大きく分けて二つあります。

一つは、歯の中の神経が充分取りきれていないケース。

歯の中の神経が充分取りきれないのは、歯の神経が右の図1のように網目状になっているからです。歯の中の神経は1本ではなく小さい神経が何本も張り巡らされているのです。

従って歯の神経を取る治療では、大きな神経をしっかり取った後に、残った細かい神経が強い痛みを起こしたり、バイ菌のエサになったりしないように薬品を使ってその神経を弱らせ、しっかりと消毒します。

図1

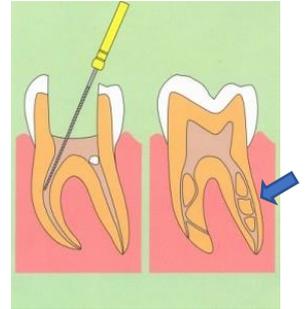
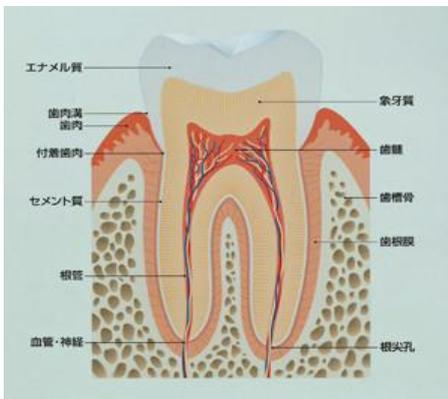


図2



もう一つは歯の外の問題で、歯根膜や骨などに対する刺激や振動を痛みと感じるケースです。

歯の根っこの周りには図2のように「歯根膜」という感覚を司るところがあります。そして骨があります。

そこにはやはり「神経」があるのです。だから歯の中の神経の治療が綺麗にできていても歯根膜や骨の方にバイ菌が繁殖したりすれば、痛みが出るわけです。

神経を取った歯が痛くなる理由は他にも、歯にヒビが入っていたり、咬み合わせが悪かったりと多岐にわたります。ですから自己判断せず、早めに歯科に行って精密検査を受け適切な処置を受けてください。また治療が終わっても、定期検診は受けて下さいね。

サポート歯科 院長 廣岡聖子



I wish you a Merry Christmas !

皆さんお待ちかね・・・
今年もクリスマスパーティーを開催いたします
私たちと素敵な夜を演出しましょう♪

2017.12.16 PM 6:30

Coming soon !





訪問診療(往診)行っています



- ・歯が痛い
- ・入れ歯が合わない
- ・新しく入れ歯を作りたい
- ・グラグラしている歯がある
- ・ケアの仕方がわからない

こんな症状のある方は、一度ご相談ください
ご自宅・施設までお伺いして、歯の治療をいたします



詳しくはスタッフにお聞きください